

- 問1 和歌山県、奈良県、三重県の3県にまたがる近畿地方南部の急峻な山地では、古くからスギやヒノキの植林が行われてきました。この地域において、高品質な木材を生産するために欠かせない、成長に合わせて一部の木を切り出す作業の名称と、その目的の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|---|---|
| 1. 客土を行い、土壌の質を改善することで、病害虫に強い森林を作る。 | 2. 輪作を行い、土地の栄養分を回復させることで、木材の成長スピードを速める。 | 3. 抑制栽培を行い、木材の出荷時期をずらすことで、市場での販売価格を上げる。 | 4. 間伐を行い、木々の密度を調整することで、一本一本の木を太く健康に育てる。 |
|------------------------------------|---|---|---|
- 問2 兵庫県南部の瀬戸内海沿岸に見られる「瀬戸内式気候」では、年間を通じて降水量が比較的少なく、温暖な気候となります。このような気候が形成される主な理由として、地形的な観点から説明したものととして適切なものはどれですか。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 北の中国山地と南の四国山地によって、夏・冬それぞれの季節風が遮られるため。 | 2. 南から流れる暖流の黒潮（日本海流）の影響により、一年中海面からの水蒸気が蒸発しやすいため。 | 3. 標高が高い内陸部が屏風のような役割を果たし、南東からの湿った季節風をすべて上昇気流に変えるため。 | 4. 季節風が日本海から吹き込む際、中国山地を越えて冷たく乾燥した風が吹き下ろすため。 |
|--|--|---|---|
- 問3 日本の総人口に占める三大都市圏の人口割合を比較した際、東京大都市圏に次いで2番目に高い割合（約14.4%）を示し、大阪市、神戸市、京都市などの政令指定都市を含む都市圏の名称として最も適切なものを選びなさい。 (2022年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 1. 東京大都市圏 | 2. 名古屋大都市圏 | 3. 大阪大都市圏 | 4. 北九州大都市圏 |
|-----------|------------|-----------|------------|
- 問4 日本の果実の都道府県別生産割合を示した統計資料において、約21.0%という全国第1位のシェアを占めている和歌山県をはじめ、愛媛県、静岡県、熊本県などで生産が盛んな果実として正しいものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|--------|--------|
| 1. 温州みかん | 2. さくらんぼ | 3. りんご | 4. ぶどう |
|----------|----------|--------|--------|
- 問5 和歌山県のみなべ町周辺は、太平洋に面し背後に山地が広がる地形で、梅の生産量が日本一として知られています。この地域の傾斜地において、完熟して自然に落下した梅を傷つけることなく、効率的に回収するために行われている工夫として適切なものはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|---------------------------|----------------------------|------------------------------|
| 1. 木を低く育て、大型の機械で一斉に枝を揺すって落とす | 2. 木の下に網（ネット）を張り、落ちた実を集める | 3. 地面をコンクリートで固め、水で一箇所に流し込む | 4. 山を階段状に削って平地を作り、トラクターで回収する |
|------------------------------|---------------------------|----------------------------|------------------------------|
- 問6 近畿地方の南部に位置する紀伊山地について、この地域の自然環境と産業の関係を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---|---|
| 1. 黒潮の影響で降水量が多く、古くから杉や檜などの林業が盛んである。 | 2. 火山活動が活発であり、地熱発電を利用した工業団地が形成されている。 | 3. なだらかな傾斜地が多いため、広大な平野を利用した機械化農業が中心である。 | 4. 年間を通じて降水量が少なく乾燥しているため、大規模な溜池が作られている。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---|---|
- 問7 日本の地方区分において、近畿地方に含まれる府県の構成とその境界に関する記述として正しいものはどれですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 大阪府と京都府の2府のみで構成されており、それ以外の周囲の県はすべて中部地方や中国地方に含まれる。 | 2. 三重県を除いた2府4県で構成されており、滋賀県や奈良県と三重県との間が中部地方との境界になる。 | 3. 兵庫県から岡山県までの範囲を含めた2府6県で構成されており、兵庫県と岡山県の間が中国地方との境界になる。 | 4. 三重県を含めた2府5県で構成されており、三重県と愛知県・岐阜県との間が中部地方との境界になる。 |
|--|--|---|--|
- 問8 滋賀県に位置する日本最大の湖である琵琶湖は、その重要性から「近畿の水がめ」と呼ばれています。琵琶湖が近畿地方において果たしている役割や特徴について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 淀川などを通じて、下流に位置する京都府や大阪府などの生活・産業を支える水源となっている。 | 2. 周囲を高い山々に囲まれたカルデラ湖であり、主に水力発電の源としてのみ利用されている。 | 3. 日本で2番目に大きい面積を持つ湖であり、大規模な干拓によって水田へと姿を変えた。 | 4. 湖水に塩分が含まれる汽水湖であるため、古くから沿岸部では塩田による塩作りが盛んに行われた。 |
|---|---|---|--|
- 問9 京都市内において、全国チェーンの飲食店やコンビニエンスストアが、他の地域とは異なる茶色や黒などの落ち着いた色の看板を使用している事例が見られます。これは、市が定めた条例に基づき、あるものへの配慮が求められているためです。この配慮の対象として最も適切な語句はどれですか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|-------|
| 1. 地場産業 | 2. 伝統工芸 | 3. 再開発 | 4. 景観 |
|---------|---------|--------|-------|
- 問10 江戸時代から明治時代にかけての、滋賀県における輸送手段の変化について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 鉄道は旅客専用として整備されたため、物資の輸送については明治時代末期まで琵琶湖の船運が独占していた | 2. 鉄道よりも北前船による日本海ルート需要が高まったため、明治時代を通じて琵琶湖の利用者が増加し続けた | 3. 明治時代中期以降、東海道線などの鉄道網が整備されたことで、琵琶湖の水上輸送から鉄道へと輸送の主役が交代した | 4. 明治時代初期に琵琶湖の全域を埋め立てる工事が行われたため、水上輸送から鉄道へと強制的に切り替えられた |
|--|--|--|---|
- 問11 日本を7つの地方に区分する考え方において、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府5県が含まれる地方区分を何と呼びますか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|---------|---------|
| 1. 中国・四国地方 | 2. 近畿地方 | 3. 関東地方 | 4. 中部地方 |
|------------|---------|---------|---------|
- 問12 阪神工業地帯の中核を担う大阪府の工業について、製造品出荷額の構成比や産業の特色を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 金属製品の出荷額が大きく、一般機械や電気機械などの機械工業とともに地域の中心となっている。 | 2. 飲料・飼料などの食料品工業が中心であり、重化学工業の出荷額は全国平均を大きく下回っている。 | 3. 輸送用機械の出荷額が突出して大きく、沿岸部には大規模な自動車工場や関連工場が集中している。 | 4. かつては「東洋のマンチェスター」と呼ばれたように、現在も繊維工業が出荷額の過半数を占めている。 |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 間伐を行い、木々の密度を調整することで、一本一本の木を太く健康に育てる。	紀伊山地では、植えられた木が成長して密集してくると日当たりが悪くなるため、適切な間隔を保つために「間伐（かんばつ）」が行われます。これにより、残された木に十分な日光と栄養が行き渡り、年輪の美しく詰まった高品質なスギやヒノキが育ちます。農業で行われる「輪作」や「抑制栽培」とは異なる、林業特有の工夫です。
問2	答え 1 北の中国山地と南の四国山地によって、夏・冬それぞれの季節風が遮られるため。	兵庫県南部を含む瀬戸内海沿岸は、夏は四国山地が、冬は中国山地が壁となり、湿った季節風を遮ります。その結果、水分を失った乾燥した空気が流れ込むため、年間を通じて雨が少なく、晴天の日が多くなります。これにより、塩田（かつての塩作り）や果樹栽培などに適した気候となっています。
問3	答え 3 大阪大都市圏	日本の三大都市圏は、人口規模の大きい順に東京大都市圏、大阪大都市圏、名古屋大都市圏となります。大阪大都市圏は、大阪府を中心に兵庫県、京都府、奈良県などに広がり、京阪神とも呼ばれる地域を含んでいます。設問にある約14.4%という数値や、京都・神戸が含まれるという特徴は大阪大都市圏に該当します。
問4	答え 1 温州みかん	和歌山県は、温暖な気候と傾斜地を活かした果樹栽培が非常に盛んな地域です。特に温州みかんは、愛媛県や静岡県と並んで日本を代表する産地であり、長年にわたり全国トップクラスの生産量を維持しています。一方で、りんごは青森県や長野県、ぶどうは山梨県や長野県が主な産地となります。
問5	答え 2 木の下に網（ネット）を張り、落ちた実を集める	紀伊山地の斜面を利用した梅栽培では、平地が少なく機械の導入が難しいため、地形に合わせた工夫がなされています。特に最高級品とされる完熟梅は、自然に落下したものを収穫するのが理想的です。そのため、木の下にあらかじめ網を敷き詰めておくことで、急な斜面でも実が転がり落ちたり傷ついたりするのを防ぎ、効率よく回収できる仕組みを整えています。
問6	答え 1 黒潮の影響で降水量が多く、古くから杉や檜などの林業が盛んである。	紀伊山地の南部は、沖合を流れる暖流の黒潮の影響を受けて湿った空気が流れ込みやすく、日本でも有数の多雨地帯として知られています。この豊かな雨量と温暖な気候を利用して、吉野（奈良県）や尾鷲（三重県）などでは良質な杉や檜を育てる林業が伝統的に発展してきました。乾燥した気候を前提とした溜池や、広大な平野での農業、火山活動に関する記述はこの地域の地理的特徴とは一致しません。
問7	答え 4 三重県を含めた2府5県で構成されており、三重県と愛知県・岐阜県との間が中部地方との境界になる。	近畿地方の範囲を特定する際、三重県の扱いが重要になります。学校教育などで用いられる標準的な7地方区分では、三重県は近畿地方の東端として定義されています。したがって、近畿地方（三重県）と中部地方（愛知県、岐阜県など）の境界は、三重県の県境に位置することになります。岡山県は中国地方に、滋賀県や奈良県は近畿地方に明確に区分されます。
問8	答え 1 淀川などを通じて、下流に位置する京都府や大阪府などの生活・産業を支える水源となっている。	琵琶湖から流れ出る瀬田川は、宇治川、淀川と名前を変えて大阪湾へと注ぎます。この水系は、滋賀県内だけでなく京都府、大阪府、兵庫県などの約1,400万人の飲料水や、阪神工業地帯の工業用水を供給する極めて重要な役割を担っています。なお、日本で2番目に大きい湖は霞ヶ浦であり、琵琶湖は塩分を含まない淡水湖です。
問9	答え 4 景観	京都市では「京都市景観条例」などにに基づき、派手な原色の使用を避けるなど、看板の色やデザインが厳しく規制されています。これは、周囲の寺社や古い町家と調和させ、古都としての歴史的な「景観」を損なわないようにするためです。
問10	答え 3 明治時代中期以降、東海道線などの鉄道網が整備されたことで、琵琶湖の水上輸送から鉄道へと輸送の主役が交代した	滋賀県では古くから琵琶湖を利用した物資輸送が盛んでしたが、明治時代に入り、近代化政策の一環として東海道線などの鉄道が整備されると、交通体系が大きく変化しました。特に明治時代中期以降は、大津や長浜といった拠点が鉄道で結ばれたことにより、長年続いていた水上輸送から、より効率的な鉄道輸送へと物流の構造が転換しました。
問11	答え 2 近畿地方	日本の地方区分は、歴史的背景や地理的なまとまりに基づいて分類されています。近畿地方は、古くから日本の政治・文化の中心地であった京都府と大阪府の2府を中心に、それを取り囲む三重県、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県の5県を合わせた「2府5県」で構成されます。三重県は経済的な結びつきから東海地方（中部地方）として扱われることもありますが、一般的な7地方区分では近畿地方に含まれます。
問12	答え 1 金属製品の出荷額が大きく、一般機械や電気機械などの機械工業とともに地域の中心となっている。	大阪府が中心となる阪神工業地帯は、戦前から金属工業や機械工業が発達してきました。現在でも統計上、金属製品の製造品出荷額が他の都道府県に比べて高い水準にあり、機械工業と並んで大阪の工業を支える重要な柱となっています。一方で、かつて盛んだった繊維工業の割合は低下しており、輸送用機械については栃木県などの内陸県や東海地方の方が高い割合を示す傾向があります。